

# 2022 年度第 10 回理事会 議事録 2022.2.22

日時：2023 年 2 月 22 日（水）19：01～21：35

場所：オンライン開催のため各自自宅・職場

出席理事：神保武則(会長)、田中ゆかり(副会長)、金山桂(副会長)、吉本雅一(事務局長)、玖島弘規、佐々木秀一、奥原孝幸、佐藤隼、遠藤陵晃、野本義則、神田崇央、佐藤範明、木村修介、戸塚香代子、澤口勇、西川航平、大郷和成(17 名)

欠席理事：望月強併(1 名)

出席監事：錠内広之、野々垣睦美(2 名)

## I. 会長より挨拶

本日の理事会も多数の議案があります。本日は池田選挙管理委員長にもお越しいただいております。役員選挙に関する報告があります。円滑な議事運営にご協力をお願いします。

## II. トピックス

### 1. 役員選挙報告(選挙管理委員会 池田委員長)

19 日消印有効で立候補届け出を締め切った。本日現在で理事 12 名の立候補を確認。監事の立候補はなし。定款に規定されている範囲で理事役員を理事会で推薦するかを含めて検討を依頼する。推薦者などの詳細は事務局長より選挙管理委員長へ連絡を依頼する。最終的には 3 月 17 日理事会で決議することとする。

### 2. 地域支援活動助成金事業実施要綱について(エリア化推進委員会)

実施要綱詳細が完成。理事会にて本要綱で運用することを確認した。

## III. 審議事項について

1. 湯河原町介護認定審査会 委員推薦について →承認

2. 小田原市介護認定審査会 委員推薦について →承認

3. 日本ケアマネジメント学会第 22 回研究大会 後援について →承認

4. 定款第 26 条の変更について →承認 社員総会議案として提出する

5. 電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の作成について →承認

<質問・確認事項>

○電帳法は基本的にはデータでの保存を求められるものであると理解しているが、その管理のためにこの規程が必要なのか

→その通り。ただし基本的にはデータ保存であるが紙ベースでの保存も可能。

○今後の具体的な対応について教えてほしい

→各部署対応は必要となるがその具体的な内容については現在検討中。

○学会・臨床大会については外部業者等との取引が多くなるため事務局と共同して対応が必要になりそうか。

○罰則規定はあるのか

→詳細について確認する。

○取引情報訂正・削除申請書の記載方法の見本があると分かりやすい

→検討する。

## IV.報告事項について(各部署・理事)

### 【各部署】

#### 1. 事務局・財務部・福利部

##### (1)第10回社員総会について

3部署より進捗状況の報告と今後スケジュール等の確認。代議員への出欠確認準備を進めている。

議案書については各部署の箇所に関して3月20日最終締め切りとなる。期末監査手続きについては3月より開始し事業が終了次第速やかに手続きを行う。また県士会功労表彰対象者の選定は2月で完了し、3月の理事会で審議承認の予定。

#### 2. 教育部

3月19日に開催を予定していた「臨床実習指導者講習会アドバンスコース」は開催予定人数に達しなかったため中止することとなった。

#### 3. 福利部

##### (1)倫理研修会報告

1月18日(水)18:00~19:00 講師:日本作業療法士協会倫理委員長太田睦美氏

参加者20名(定員30名) アンケート回収率55.5%であった。平日の18時台の開催は参加しやすいとの回答が多数あり満足度も高い結果であった。今後の県士会への希望として、人材育成、入会促進、組織マネジメント、離職防止対策など様々なテーマのイベントを企画立案してほしいとの要望をいただいた。

<意見交換等>

○想定以上に参加者が集まり良かったと感じる。今回の研修会は管理者向けとターゲットを絞っていたので今回のテーマについても関心が高く有益だったと感じた。

○広報部では入会促進に関しては各施設(現場)向けにも広報活動を行っていききたい。意見をいただいた施設を特定できるか。→できない。参加者に今後のイベントなどを案内することは可能。

○管理者向け企画については制度対策部も実施。アンケートでは同様な意見をいただいた。来年度は広報部福利部等とも協働して実施したい。

○倫理問題は非常に大切なテーマだと感じる。社会的には報道にあるように虐待について大きな問題となっている。人権問題についても今後研修会を開催できると良いのではないか。

### 【理事】

#### 1. 田中理事

##### (1)40周年記念事業プロジェクトチームより

ア)ロゴマークシールを名刺貼付用に作成した。必要な理事役員は田中副会長へ連絡する。

イ)チャレンジ動画の出演者には薄謝ながらお礼を贈る。

##### (2) 令和4年度神奈川県在宅医療推進協議会リハビリテーション部会について

2月7日オンライン会議に出席。詳細は渉外報告を参照。来年度以降も継続の予定。各団体がどのような支援が具体的にできるのか引き続き検討していく予定。

##### (3) 2023年度第4回47都道府県委員会について

3月11、12日開催。委員として神保会長、オブザーバー参加として田中副会長、金山副会長、澤口理事が出席予定。

#### 2. 金山理事

##### (1)選挙ワーキンググループより

三役の互選方法について、現理事にアンケートを取る。以前より社員総会ではどのような方法がより現実的かつ有益かの質問があり、引き続き検討していくことが課題であった。現理事から意見をいただき、互

選方法についての定款・規程の整備の一助としたい。

<質問・意見交換>

- アンケートの設問は複数回答可能か →基本的には1つの回答を選択
- 質問内容にないことや提案はぜひその他の箇所で自由に意見を記載してほしい
- 選挙活動については禁止行為が明確化されていないと感じる
  - 三役の互選の規約の変更を検討しており明確化する。役員、代議員選挙については改定済み。
- 一般社団法人法では代表理事を監督する立場にあるのが理事であり、代表理事は理事が決定することが法的に規定されているため、代議員の意見を聴くことは出来るが決定権はないのではないかと感じる。
  - その通り。代議員の意見を聴くことは出来るが決定権は理事が保有している。
- 当会の正しい運営が継続できるよう法に基づいて三役を選出決定することが重要だと感じる

### 3. 遠藤理事

#### (1)OT 協会地域包括ケアシステム推進委員会主催オンライン研修会報告

約160名が参加。地域共生社会の実現に必要なこととして、障害・精神・小児・高齢者など全ての分野で活躍するジェネラリストの存在が必要。日本作業療法士協会は2023年度より組織改編を行う予定となっており、地域社会振興部では、地域包括ケア、認知症、運転と作業療法、スポーツ領域、災害活動などあらゆる分野の活動を行っていく予定。地域包括ケアシステム参画の手引き第2版については来年度公開予定との説明があった。

### 4. 戸塚理事

#### (1)教育領域への作業療法士参画に向けた意見交換会報告

1月28日開催参加。「特別支援教育に関する最新の話題と作業療法士の参画」をテーマに、国連における障害者の権利に関する条約に関する政府の総括所見について、学校教育(現状)の動向について、通常学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする生徒に関する調査結果について、教育現場における作業療法の参画状況などについて説明があった。また各都道府県での取り組みの報告があり、岩手県や三重県から具体的な取り組みについて報告があった。三重県については神奈川県の特設支援学校に勤務する作業療法士が協働しているとの報告があった。神奈川県は特別支援学校に専属の作業療法士が以前より配属されており、先駆的な活動を行っていることを改めて確認できた。

<意見交換>

- 教育領域に関しては今後もその知見を広げていく必要がある。
- 特別支援学校に配属されている作業療法士との連携について、以前も当会は模索してきたが継続できずに途切れてしまっていた。過去には取り巻く環境の影響もあり厳しい意見もいただいていたが、今後の連携に関してはどのような対応工夫が必要なのか
  - 過去とは状況が大きく変化してきていると感じる。現場の作業療法士に意見を求めると、積極的に連携協力したいという意見を多数いただいている。専門的に関わっている作業療法士に協力をいただくだけでなく、他領域の作業療法士にも教育領域の作業療法について広め、多くの人に関わってもらいたい。

### 5. 神保会長

#### (1)日本作業療法士協会「会員の個人情報取り扱いに関する覚書(改定案)」の締結について

先月に引き続き説明確認。専門家の助言をいただいた。個人情報保護法にも関連することであり、会の方針転換にも関わることであるため、社員総会にて代議員の議決を取った方が良いのではないかと見解をいただいた。社員総会にて議案として提出し承認をいただき、個人情報取扱業務概要説明書に具体的文言((11)「協会員=士会員」の実現促進をはじめとする日本作業療法士協会・本会の会員の管理業務等)を追記していくこととする。→社員総会の議案として提出することを確認した。

#### <質問・意見交換>

- 本件は進めていく必要がある事案。会員へ広報し代議員に承認をいただくことが大切。
- ニュースを活用して広く会員に広報してほしい。会員からの意見を代議員にいただけるのではないか。  
→県士会ニュース4月号へ記事を入稿し広報する
- 県士会会員ではない作業療法士への広報はどのようなになるのか。  
→当会からは当会正会員への広報のみとなるため非会員への直接広報は出来ない

#### (2)2023～2026年中長期計画(案)について

理事の意見をいただき再度修正加筆した。内容を確認し議案として社員総会へ提出することを決定。

#### (3)来年度に向けて研修会の開催方法についての意見交換

- 他団体では対面での開催が増えてきている。政府が進める5月18日からの規制緩和を契機に、対面での実施を再開し、オンラインと併用してはどうか。また各部署会議も必要に応じて対面で開催したい。
- 先日の臨床作業療法大会アンケートにおいても開催方法の検討が挙げられていた。対面、オンライン、ハイブリット、オンデマンドなど、目的や状況に応じて柔軟に活用できるように整備していきたい。  
より多くの様々な状況に置かれている会員が参加できる仕組みを作りたい。
- オンラインシステムを使用した研修会にも大きなメリットがあった。対面式だけに拘らずにオンライン、ハイブリット開催も視野に入れていきたい。
- オンライン開催は必要。各部署で目的に応じて選択できるように整備してほしい。  
→4月度理事会で方針について最終確認を行う

### V. 役員選挙 立候補結果報告を受けて

理事12名、監事0名の立候補であった。安定かつ適切な理事会ならびに当会の運営のためには、定款で記す最大数である理事18名、監事2名が必要と考える。その点に理事会の総意として確認した。

今後の推薦対応については理事会後の三役会で検討し理事会に共有する。また3月17日が推薦候補締め切りであるため、理事会で推薦候補者を検討し、3月16日開催予定の3月度理事会で来年度の理事・監事候補について最終確認する。最終決定した理事・監事候補について選挙管理委員会に連絡することとする。

### VI.その他 連絡事項等

#### 1. 議事録署名人について

吉本事務局長から指名があり決定する。神保会長、野々垣監事、佐々木理事、戸塚理事。

#### 2. 第19回神奈川県作業療法学会実行委員会について(大郷実行委員長)

1月20日～3月20日で発表意思表明期間となっている。現在14名の演題発表申し込みがあった。  
周囲の会員へ引き続き周知を依頼する。

#### 3. 監事より

##### (1)野々垣監事

今月中長期計画、役員選挙に関する事など重要な議事がありました。誰が何を行っていくのか引き続き明確にしながら、社員総会開催まで現役員で共に運営していきましょう。引き続き宜しくお願いします。

##### (1)錠内監事

お疲れさまでした。役員選挙については調整して推薦候補を依頼することを望みます。先の組織改編の検討では、将来的に理事数を調整する案が出ていますが、現状の移行期ではまだ最大数18名は必要と考えます。期間に限りがありますが今後の円滑な運営のために検討を続けてください。

|        |     |        |   |
|--------|-----|--------|---|
| 議事録署名人 | 議長： | 神保 武則  | 印 |
|        | 理事： | 佐々木 秀一 | 印 |
|        | 理事： | 戸塚 香代子 | 印 |
|        | 監事： | 野々垣 睦美 | 印 |

次回理事会日程：2023年3月16日(木)19時より開催予定